



大阪科学・大学記者クラブ 御中  
関西レジャー記者クラブ 御中

2018年 6月 20日  
大阪市立大学

～早朝特別開園～

～古代から現代までのハスが勢ぞろい！～  
美しく開花するハナハスを観察しよう！



大阪市立大学理学部附属植物園は、2018年7月14日（土）から7月16日（月・祝）の3日間、ハナハス観察のため、特別に通常より2時間30分早く、朝7時に開園します。

ぜひ皆さまに広くご周知いただくとともに、ご取材についてご検討いただけますよう、よろしくお願い致します。

🏠ご取材のポイント

【67品種 89本のハスを観察できます！】

・2000年の時を超えて咲く「大賀ハス」

1951年（昭和26年）、千葉市内の遺跡から2000年以上前のハスの実が発見され、その実をハスの権威者の大賀一郎氏が翌年開花させたことにより名付けられた古代ハス「大賀ハス」があります。

・「古事記」で詠われた「原始ハス」

「古事記」のなかで引田部赤猪子（ひけたべの あかいこ）が「日下江の入江のハチス花ハチス 身の盛り人羨しきろかも」と詠んだハスと言われており、約1400年以上前ごろから咲き誇っていたとされています。同種の「枚岡の原始ハス」は大阪府の天然記念物に指定されています。

・舞うように咲く「舞妃蓮」

1966年（昭和41年）和歌山県御坊市の阪本祐二氏が、アメリカの黄花ハス「王子蓮」と日本の「大賀ハス」を交配して作り出した品種です。「舞妃蓮」という名前の通り、花の咲く様子が女性の舞姿のように優美です。



大賀ハス



原始ハス



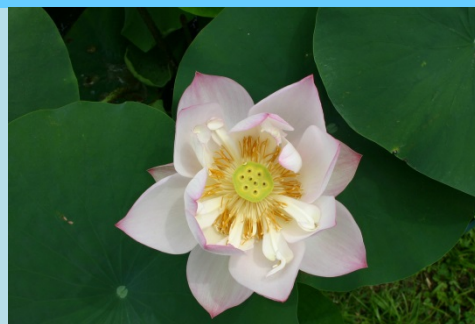
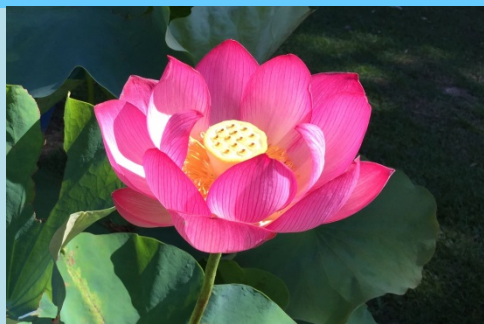
舞妃蓮

ハスの花は、夜明けとともにほころび始め、早朝に開花し昼頃には閉じてしまいます。早朝開園により、澄んだ早朝の空気の中、優しい香りを漂わせながら咲く美しいハナハスを存分に鑑賞していただけます。

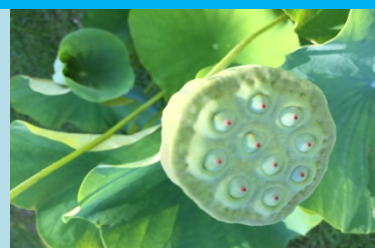
1. 開催日時 2018年7月14日(土)・15日(日)・16日(月・祝)の3日間  
開園：7時、閉園：16時30分(雨天実施)  
※通常の閉園時間16時30分まで在園可能  
※9時30分までは限定エリア(スイレンプールからハナハスまで)のみ散策可能
2. 会場 大阪市立大学理学部附属植物園(大阪府交野市私市2000)  
アクセス：京阪電車交野線「私市(きさいち)」駅下車、徒歩約6分  
URL：[http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/1\\_01\\_prof\\_files/0\\_01\\_04\\_a.html](http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/1_01_prof_files/0_01_04_a.html)
3. 入園料 350円  
※中学生以下・大阪市民で満65歳以上の方(住所・年齢の分かるものをご提示ください)・障がい者手帳をお持ちの方、植物園メイトカード(65歳以上の交野市民で植物園メイトに登録された方)をお持ちの方は入場料無料
4. その他 事前申し込みは不要です。当日、植物園へお越しください。※写真撮影は自由です。

**【本件に関する問合せ先】**

大阪市立大学理学部附属植物園 担当：中野  
TEL：072-891-2059  
E-mail：b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp

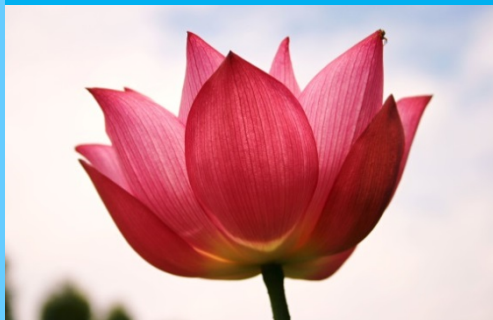


# 早朝特別開園



67 品種 89 本のハスを  
保有・展示

美しく開花するハナハスを観  
察しよう！



平成 30 年 7 月 14 日(土)・15 日(日)・16 日(月・祝)

開園時間：午前 7 時（雨天実施）

入園料：350 円(中学生以下無料)

- \*9 時 30 分までは限定エリア(スイレンプールからハナハスまで)のみ散策可能
- \*9 時 30 分以降も在園可能（閉園時間 午後 4 時 30 分）
- \*駐車場は開園時間からご利用いただけます。



大阪市立大学理学部附属植物園

詳しくは植物園事務室へお問合せいただくか、またはホームページをご覧ください。

TEL 072-891-2059 WEB <http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/>